

## 19年度・採択団体及び事業概要

平成19年度は、20団体の申請中13団体が採択になりました。

No	団体名	事業名	事業概要
1	岩出山まちづくり協議会	情報共有による地域活動支援事業	<p>総合支所だよりとして当該月の行事予定については情報提供されているが、年間情報がないために各団体等が計画した事業が重複したり、住民においても事前に情報が得られないため、地域行事に家族行事等が重なるなど、主催者においても参加者となる住民においても混乱を来している。</p> <p>この問題を解決するため、各地域づくり委員会と連携し、各種情報を取りまとめ、カレンダー型の年度行事予定表を作成し、地域の計画的な事業運営と住民自治活動の推進を図る。</p>
2	松山まちづくり協議会 教育文化部会	フランク永井 歌コンクール事業	<p>昨年、我が地域出身の歌手フランク永井氏生誕75周年を記念し、3月18日（誕生日）に発表会が開催され、多くの参加者から、地域の宝、日本の宝である永井氏の歌のコンクールを望む声があがった。その要望に応える事と大崎市松山を全国へ発信する為にコンクールを開催する。</p>
3	松山まちづくり協議会 安心安全部会	子どもの地域安全対策事業	<p>昨年実施した研修会や全地域内アンケートの結果を受けて「子どもの安全を地域で守る」をテーマに3つの事業を実施する。</p> <p>①地域安全マップの作成（子どもと一緒に地域を歩いて危険箇所をマップにまとめる。）②地域子ども110番の家制度（協力家庭を募り、目印としてのぼり幡を掲げていただく。）③子ども見守り隊（下校時間に合わせて、地域ぐるみで子どもを見守る。）</p>
4	西大崎地域自治協議会	西大崎地域活性化ベースづくり事業	<p>平成18年度は、西大崎地域自治協議会の組織・活動内容、そして地域自治の必要性など多くの地域住民に知ってもらうため西大崎全地区で集落座談会を開催した。その座談会において、住民の方々から提案・意見のあったものを整理し、次の地域づくりへつなげるものとして「住民意識の高揚（地域づくり）と地域情報の整理（マップ作成）」を事業として取り組むための「地域活性化ベースづくり」を推進する。</p>

No	団体名	事業名	事業概要
5	松山まちづくり協議会 教育文化部会	稲藁伝統技術保存事業 『俵製作の技術と記録』	稲作文化の中には、地域のお年寄りが持っている貴重な技術がたくさんある。その技術を多くの方に知ってもらい、後世へ伝えて行く必要があることから、今回は、稲藁から俵が完成するまでの経過を映像で記録し、今後の活動につなげていく。
6	志田中部地区振興協議会	子育て支援事業 「志田っ子 山楽校(やまがっこう)」	志田地区には、沢山の知識を持った方々や水田・川などの豊かな自然が多く残っている。地域の人たちが先生となり、知恵と自然を活かした四季折々の交流事業活動を通じ、大切な子供たちを地域ぐるみで育て、そして楽しいひと時を過ごす。これは、地域の貴重な資源を生かすことと、思いやりとやさしさを持った児童の育成になると考える。
7	まやま地域づくり委員会	農村と都市交流事業 「夏休み！田舎探検 in いわでやま」	東京都江東区の児童30名と大崎市内の児童10名を募集し、真山の子供たちとの交流を図りながら、畑での農作業体験や川遊び・昆虫採集など真山らしい田舎を体験してもらい、青少年健全育成を図るとともに、交流人口増加を図り『20万都市戦略』に寄与する。 また、この事業を通じて、地域づくり委員会の組織力の強化と人材育成及び地域の再発見につなげる。
8	三本木まちづくり協議会 教育部会	「三本木地域の伝説と物語伝承事業」	三本木地域には、特色ある伝説や物語が数多くある。今回の事業では、大豆坂地藏尊の物語を年齢層に分けてわかりやすく編集し、大型(0.78m×1m)の紙芝居にする。将来的には、三本木地域に限らず大崎市に語り継がれている民話なども紙芝居化し、後世に伝えていきたいと考えている。この事業を行なうことにより地域の人々と融和が図れ、子供たちの情操教育のみならず郷土を愛する心も育む。
9	古川富永地区振興協議会	「富永・食の見本市」	現代社会で問題視されている「食の安全」の確保は「地産地消」と切っても切れない関係にある。そしてこの問題解決の先にあるものは「食育」であろう。今こそ様々な「食」の交流を通じて地区民の食文化に対する意識の高揚を図ると共に、この事業を通して正しい食の知識を提供することにより、大人はもちろんのこと次世代の地域を担う子供達のために安全で安心かつ健全な食の地域環境を作り上げる一助となすことが出来る。

No	団体名	事業名	事業概要
10	鳴子∞地域づくりネットワーク	「踊ればわかる鳴子の心」 ～浴衣で踊って地域を知ろう～	伝統舞踊の「こけし囃子」や「鳴子音頭」を披露し、体験していただくことで、古来より継承されて来た鳴子の心（おもてなしの心や感謝の心）を広く多くの人々と共有し、「私たち一人ひとりが、地域に対して出来ること」を考える契機とし、子供たちには踊りの楽しさを、高齢者には踊りから活力を、観光客には温泉の湯のように温かな癒しを与え、地域で支える観光を目標に、交流人口の増加・大崎市20万都市構想に貢献する。
11	大貫かんぼやま委員会	撮(と)ってもいいよ 来て見てけらいん 大貫かんぼやま祭り	私たちが住む大貫地区には、有形無形たくさんの『魅力』があります。それを広く内外に発信するため、「歴史」「今」「未来」「人」「心」「宝物」など、様々な視点で『大貫の魅力』に触れられる機会を設けます。 ここに来れば大貫がよくわかる。そしてきっと大好きになる。「とってもいいよ！来てみてけらいん！」そんな気持ちでこの事業にチャレンジする。
12	西古川地区振興協議会	ふるさと再発見 (西古川の史跡・文化財の発掘と保存)	この事業は、高齢者等からの昔の話を聞く会や地域の歴史の勉強会を行いながら、地域で忘れかけられている史跡・文化財の現状や問題点を調査し、地域の宝として次の世代に正しく継承していくための事業である。 調査後、地域内においては史跡等環境の整備活動や歴史文化マップ・小冊子作成等でふるさと西古川を再発見し、さらに史跡等の案内人の養成等を行い、史跡や文化財を他地域へのPR・交流のために活用していくものである。
13	三本木まちづくり協議会 教育部会	「食育」を通したまちづくり	子どもたちをはじめ、全ての住民が生涯にわたって健康で生き生きと暮らすことができるようにするためには、「食」が最も重要です。子どもに関する食育は勿論ですが、地域住民が一体となり食育について研修を重ねることにより、生涯にわたって健康で豊かな人間性を育むことが大切であると考え、「食育」を通したまちづくりを実施する。